

射水市教育委員会 2月定例会次第

日 時 令和2年2月19日(水)
午後2時00分から
場 所 本庁舎4階会議室401

1 会議録の承認

2 事務局報告

- (1) 射水市議会3月定例会会期日程について 資料1
- (2) 令和元年度3月補正予算について 資料2
- (3) 射水市議会3月定例会提出議案について 資料3
- (4) 令和2年度予算(案)概要について

3 協議事項

- (1) 射水市教育振興基本計画(後期)について 資料5

4 各課等の連絡事項及び報告事項

- (1) 小・中学校ICT教育環境整備事業について 資料6
- (2) 令和元年度卒業(園)式及び令和2年度入学(園)式について(学校教育課) 資料7
- (3) 令和元年度末教員異動方針について(学校教育課) 資料8
- (4) 2019年度教育センター事業について(教育センター) 資料9
- (5) あったか家族応援プロジェクト「イメージソング」2次審査について
(生涯学習・スポーツ課) 資料10
- (6) 小杉体育館のネーミングライツパートナーの公募結果等について
(生涯学習・スポーツ課) 資料12
- (7) 教育委員会行事予定 資料11

5 その他

※ 次回教育委員会の開催日時について

3月定例会 3月19日(木) 午後2時から 本庁舎会議室401

令和2年3月射水市議会定例会会期日程(案)

会期20日間

2月28日(金)	午前10時	本会議	日程第1 会議録署名議員の指名 日程第2 会期の決定 日程第3 市長の提案理由の説明 日程第4 予算特別委員会の設置
	本会議終了後		全員協議会(報告事項説明)
2月29日(土)			休 会
3月1日(日)			休 会
3月2日(月)			議案調査日
3月3日(火)			議案調査日
3月4日(水)			議案調査日
3月5日(木)	午前10時	本会議	日程第1 議案質疑 日程第2 代表質問
	午前10時	本会議	日程第1 一般質問
3月6日(金)			休 会
3月7日(土)			休 会
3月9日(月)	午前10時	本会議	日程第1 一般質問(予備日) 日程第2 各議案の委員会付託
	本会議終了後	委員会	議会改革特別委員会
3月10日(火)	午前10時		全員協議会
	全員協議会終了後	委員会	予算特別委員会(説明)
3月11日(水)	午前10時	委員会	総務文教常任委員会
3月12日(木)	午前10時	委員会	民生病院常任委員会
3月13日(金)	午前10時	委員会	産業建設常任委員会
3月14日(土)			休 会
3月15日(日)			休 会
3月16日(月)	午前10時	委員会	予算特別委員会
3月17日(火)	午前10時	委員会	予算特別委員会
3月18日(水)	午後2時	本会議	日程第1 委員長報告(質疑、討論、採決)
			日程第2 議会運営委員会及び各常任委員会の閉会中の継続審査

招集告示：2月21日(金) 午前10時00分 議会運営委員会

午後1時30分 全員協議会(議案説明)

発言通告日 代表質問 3月2日(月) 午後1時

一般質問 3月3日(火) 午後1時

※ 3月16日(月) 17日(火)の予算特別委員会の質問事前通告は3月12日(木) 午後1時

令和元年度3月一般会計補正予算（案）説明書（教育委員会関係）

1 歳入の内訳

（単位：千円）

補正区分	補正額	補正額の主な内訳
15 款 国庫支出金	1 2 1, 5 0 0	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金
18 款 寄附金	5 0 0	中学校事業寄附金
	5 0 0	小学校事業寄附金
21 款 諸収入	1, 2 0 0	教育費雑入（スポーツ振興くじ助成金）
22 款 市債	8 6, 7 0 0	小学校整備事業債（学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業）
	3 4, 7 0 0	中学校整備事業債（学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業）

2 歳出の内訳

（単位：千円）

補正区分	補正額	補正額の主な内訳
10 款 教育費		
学校図書館活動推進費	3 5 0	寄附金による備品（図書）購入
教育振興運営費（小）	1 8 7, 5 0 0	学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業
	3 0 0	寄附金による備品（楽器等）購入
教育振興運営費（中）	7 4, 9 0 0	学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業
	3 5 0	寄附金による備品（テント等）購入

報告第 号

専決処分の報告について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条第 1 項の規定により、議会において指定されている事項について専決処分したので、同条第 2 項の規定によりこれを報告する。

令和 2 年 2 月 28 日 提 出

射水市長 夏 野 元 志

記

和解及び損害賠償額の決定

専決処分 番 号	専決処分年月日	専決処分の内容
5	令和元年 12 月 4 日	1 和解及び損害賠償の内容 責任割合 市 100パーセント 損害賠償額 市 27,540円 2 和解及び損害賠償の相手方 射水市外 1 法人 3 事由 刈払機での除草作業に伴う飛び石による 車両破損事故 発生日 令和元年 9 月 5 日 場 所 射水市立新湊南部中学校

報告第 号

専決処分の報告について

(説明)

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により、議会において指定されている事項について専決処分したので、同条第2項の規定により議会に報告するもの。

和解及び損害賠償額の決定

専決処分番号	専決処分年月日	専決処分の内容
5	令和元年12月4日	1 和解及び損害賠償の内容 責任割合 市 100パーセント 損害賠償額 市 27,540円 2 和解及び損害賠償の相手方 射水市外1法人 3 事由 刈払機での除草作業に伴う飛び石による 車両破損事故 発生日 令和元年9月5日 場 所 射水市立新湊南部中学校

議案第 号

海竜スポーツランド熱源更新工事請負契約について

令和2年2月18日に制限付き一般競争入札に付した海竜スポーツランド熱源更新工事について、下記のとおり請負契約を締結するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第5号及び射水市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成17年射水市条例第50号）第2条の規定により、議会の議決を求める。

記

- 1 契約の目的 海竜スポーツランド熱源更新工事
- 2 契約の方法 制限付き一般競争入札による契約
- 3 契約金額 332,200,000円
(うち消費税等 30,200,000円)
- 4 契約の相手方 菱機工業・丸芳工業海竜スポーツランド熱源更新工事共同企業体
代表者 富山市黒瀬北町二丁目17番地6
菱機工業株式会社富山支店
取締役支店長 大野 賢治
構成員 射水市三ヶ2488番地3
丸芳工業株式会社
代表取締役 稲積 茂

令和2年2月28日 提 出

射水市長 夏 野 元 志

議案第 号

海竜スポーツランド熱源更新工事請負契約について

(説明)

令和2年2月18日に制限付き一般競争入札に付した海竜スポーツランド熱源更新工事について、次のとおり請負契約を締結したいので、議会の議決を求めるもの(地方自治法第96条第1項第5号、同法施行令第121条の2第1項(別表第3)、射水市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条)。

工事区分	契約金額	契約の方法	契約の相手方	工期
管工事	382,200,000 円 (うち消費税等 30,200,000 円)	制限付き一般 競争入札によ る契約	菱機工業・丸芳工業海竜スポーツ ランド熱源更新工事共同企業体 代表者 富山市黒瀬北町二丁目17番地6 菱機工業株式会社富山支店 取締役支店長 大野 賢治 構成員 射水市三ヶ 2488 番地 3 丸芳工業株式会社 代表取締役 稲積 茂	契約締結の日 ～ 令和3年2月26日

小・中学校 ICT 教育環境整備事業について

1 概要

文部科学省は、平成29年12月に新学習指導要領の実施を見据え「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」（以下「5か年計画」という。）を示し、昨年12月には新たな施策として「GIGAスクール構想^{*}」を示した。

主な内容は、児童生徒への1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワーク等を一体的に整備することで令和時代のスタンダードとしての学校ICT環境を構築し、情報活用能力の確実な育成を進めるものである。本市では、これまで整備してきた小・中学校の無線LAN環境やタブレット端末等の整備を更に拡充し、国が掲げるICT教育環境の実現に向けた整備を進める。

※ GIGAスクール構想：子どものころからICT環境になじみ、将来の社会で生き抜く力を育むために、1人1台端末環境を備えた学校のあり方を政府が推進していくもの。

（GIGA：Global and Innovation Gateway for ALLの略）

2 本市の整備状況と目標

本市の小・中学校では、これまで「5か年計画」に基づき、無線LAN環境整備と計画的に児童生徒用端末（タブレット端末）等の教育用ICT機器を整備している。

整備内容	本市の整備状況 (令和元年度現在)	目標(国の方針)	
		5か年計画	GIGAスクール構想
無線LAN 通信環境	3人に1台程度の端末が円滑に通信できる環境を全校で整備済	3人に1台程度の端末が円滑に通信できる環境の整備	① 高速大容量通信ネットワークの整備 ② 電源キャビネットの整備
児童生徒 用端末	全校計 1,535台整備済 (6人に1台程度分)	3人に1台端末の整備	③ 1人1台端末の整備

3 今後の整備計画（GIGAスクール構想の実現に向けた整備計画）

① 高速大容量通信ネットワークの整備【10ギガ対応（事業完了：令和2年度）】

全児童生徒1人1台端末で一斉に、大容量の動画視聴やデジタルコンテンツを円滑に使用でき、今後、国のクラウドサーバーとのデータ通信を前提とした通信ネットワークの整備を図る。

② 電源キャビネットの整備【約240台（事業完了：令和2年度）】

全端末を充電・保管するための電源キャビネットを設置する。（配線・電源工事含む）

③ 児童生徒1人1台端末の整備【約7,400台（事業完了：令和5年度）】

国の財源を活用しながら、これまでの「5か年計画」である児童生徒3人に1台端末の整備（地方財政措置）に加え、今回のGIGAスクール構想で示された1人に1台端末の実現に向け、3人に2台端末の整備（国庫補助金）を進める。

令和2年2月19日

令和元年度卒業証書授与(卒園)式及び令和2年度入学(園)式

参 列 者 (案)

射水市教育委員会

所 属	役 職	氏 名	卒業証書授与(卒園)式			入学(園)式		
			3 月			4 月		
			13日(金)	17日(火)	16日(月)	7日(火)	8日(水)	8日(水)
			中学校	小学校	幼稚園	小学校	中学校	幼稚園
教育委員会	教育委員	眞岸 潤子	新湊南部中	放生津小		新湊小	新湊中	
	教育委員	宮原三千代	新湊中	新湊小		大島小	小杉南中	
	教育委員	野上 克裕	射北中	歌の森小		太閤山小	新湊南部中	
	教育委員	村上 葉子		(小杉小)			(小杉中)	
	教育長	長井 忍	大門中	議会		小杉小	小杉中	
	事務局長	松長 勝弘	小杉中	議会		大門小	大門中	
	事務局次長	丹羽 康雄	小杉南中	議会		片口小	射北中	
学校教育課	課 長	菅原 剛史		議会		歌の森小		
	副主幹	六渡 徹						
	課長補佐	竹内 久就		大門小		作道小		
	係 長	黒川 英基		太閤山小		中太閤山小		
	指導主事	前田多恵子		片口小	大門わかば幼			
	特別支援教育指導員	島崎 泰子		大島小	七美幼			
生涯学習 スポーツ課	副参事	宮本 康博		議会		放生津小		
	課長補佐	安元 啓二		下村小		東明小		
	係 長	藤岡美乃里		作道小		塚原小		
	係 長	尾野寺克実		東明小				
図書館	館 長	堀下 正敏		金山小				
博物館	館 長	原田 義範		塚原小				
市教セ	所 長	清水 晃		小杉小		堀岡小		
	指導主事	福山 暁雄		堀岡小		金山小		
	指導主事	亀田 重幸		中太閤山小		下村小		

令和元年度末教員異動方針

富山県教育委員会

本県教育界の将来を見通し、全県的視野にたつて適材を適所に配置し、もって教育活動の活性化を図り、教育水準の向上を期する。

1 登 用

(1) 校 長

ア 県立学校長については、学歴、年齢、性別にこだわらず、相当の教育実績を有し、学校の管理運営について、十分な識見と指導力・統率力を有する者の中から適格者を任用する。

イ 小中学校長及び義務教育学校長については、学歴、年齢、性別にこだわらず、相当の教育実績を有し、学校の管理運営について、十分な識見と指導力・統率力を有する者で、富山県公立小中学校長任用候補者名簿に登載された者の中から適格者を任用する。

(2) 教 頭

ア 県立学校教頭については、学歴、年齢、性別にこだわらず、相当の教育実績を有し、学校の管理運営と教育指導について、識見・能力を有する者の中から適格者を任用する。

イ 小中学校教頭及び義務教育学校教頭については、学歴、年齢、性別にこだわらず、相当の教育実績を有し、学校の管理運営と教育指導について、識見・能力を有する者で、富山県公立小中学校教頭任用候補者名簿に登載された者の中から適格者を任用する。

2 転 任

(1) 市町村教育委員会等との密接な連携のもとに、全県的な視野に立ち、広く交流を行う。

(2) 本人の住所、希望等については配慮するが、教育活動の活性化と教育水準の向上を図ることを第一義として、適正な配置を行う。

(3) へき地学校、小規模学校、特別支援学校及び高等学校定時制・通信制課程の教育を、さらに充実させるために交流を行う。

(4) 同一校勤務が長期にわたる者については、積極的に転任を行う。特に10年以上の者は、原則として転任を行う。

(5) 同一校勤務が2年に満たない者は、原則として転任させない。

3 新規採用教員

令和2年度富山県公立学校教員任用候補者名簿に登載された者の中から採用する。

令和元年度末教員異動方針の留意事項
－市町村立学校について－

富山県教育委員会

令和元年度末教員異動方針に基づく人事異動を実施するにあたり、市町村立学校に係る異動については、下記の事柄に留意するものとする。

記

- 1 「教育水準の向上を期する」について
 - (1) 教員の資質向上と教育活動の活性化を図る人事
 - ア 教育実績、年齢等について均衡のとれた教員構成となるように努める。
 - イ 地域の実態や教育的課題をふまえ、広域的な見地にたって交流を行う。
 - ウ 学校に勤務する教員と教育機関勤務者との交流を積極的に進める。
 - エ 教員の資質向上を図り、幅広く人材を求めるために、校種間等の交流を積極的に進める。
 - (2) 学習指導の向上を図る人事
 - ア 小学校及び義務教育学校（前期課程）においては、教員の専門教科に留意し、均衡のとれた配置になるように努める。
 - イ 中学校及び義務教育学校（後期課程）においては、免許外教科担任を解消できる教員配置になるよう努める。
 - ウ 指導方法の工夫など、個に応じた教育の推進に対応できる教員配置になるよう努める。
 - (3) 生徒指導の充実を図る人事
 - ア 校長の異動については、生徒指導上の課題に適切に対応できるよう配慮する。
 - イ 各学校には、その地域の実情に通じた教員を配置するように努める。
 - ウ 教員の異動は、市町村教育委員会の管轄区域にとらわれず広域的に行う。
- 2 「登用」について
管理職の年齢構成に配慮し、中長期的な見通しのもとに適格者の登用に努める。
→ 若手の管理職や機関等勤務者の登用に努める。
 - (1) 校長
市町村教育長の内申及び面接の結果を総合的に勘案し、当面する教育上の諸問題に対応できる人物を登用する。
 - (2) 教頭
選考結果とともに勤務校における教育課題解決能力・実績等を勘案して登用する。
- 3 「転任」について
 - (1) 学校運営の安定化を図り、各学校の教育上の諸問題（特色ある教育活動の展開、研究指定の推進、基礎学力の向上、生徒指導の充実、進路指導の充実等）に適切に対応するために、
 - ア 校長・教頭の同時転任は原則として行わない。
 - イ 同一校勤務が2年に満たない者は原則として転任を行わない。
 - (2) 幅広く人材を求め、学校の活性化と教員の資質向上を図るために、
 - ア 校種間、地教委間、事務所間等の交流を積極的に進める。
 - イ 学校に勤務する教員と教育機関に勤務する教員との交流を積極的に進める。
 - ウ 同一校勤務が長期にわたる者は、積極的に転任を行う。特に10年以上の者は、原則として転任を行う。
 - エ 新規採用後、長期にわたって同一校に勤務している者については、積極的に転任の対象とする。（採用後10年の間に2つ以上の校種を経験させるように努める。）
 - (3) 機関等勤務者については、専門性や適性ととともに指導力、事務処理能力等を十分有する者の中から任用する。
- 4 その他
 - (1) 新規採用教員は、学校規模、研修体制、初任者に対する指導教員等の諸条件を勘案して配置する。
 - (2) 自己都合による退職希望者の早期把握に努め、適正な人事配置を行う。
 - (3) 管理職の希望による降任制を実施する。
 - ア 管理職の降任については、本人の申し出により県教育委員会が決定し、年度末異動の一環として行うものとする。
 - イ その他、必要なことについては、「希望による降任制度実施要領」によるものとする。

令和 2年 2月19日 (2月定例会)

2019 (令和元年度) 市教育センター事業について

1 調査研究事業

1	全国学力・学習状況調査に関する調査研究委員会	2時間・1回
委員	小学校教諭3名(国語、算数、生徒指導主事)、中学校教諭3名(国語、数学、英語、カウンセリング指導員)	
内容	・今年度の全国学力・学習状況調査について、解答状況の分析、正答率及び質問紙回答の経年比較等を行った(今年度から、各教科のA・B問題の区別なし)。	
2	カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究委員会 [最終]	2時間・1回
委員	小学校校長1名、小学校教頭2名、小学校教諭2名(教務主任2名)	
内容	・(昨年度から継続・2年目)新学習指導要領完全実施に伴う小学校での授業時数増に対応した教育課程の編成について検討し、提案資料をまとめた。	
3	学び合う集団づくりの推進に関する調査研究委員会 [新規]	2時間・1回
委員	小学校教頭9名、中学校教頭4名	
内容	・児童生徒の学び合いを推進するための効果的な「Q-U調査」の分析と活用について調査研究を行った(行う)	
4	社会科副読本改訂に関する調査研究委員会 [新規]	2時間・1回
委員	中学校教諭3名	
内容	・中学校社会科副読本の改訂に向けての調査研究を行った。(改訂業務は令和2年度)	

2 教職員研修

1	教育講演会		
日時	8月1日(木) 14:00~16:00	会場	アイザック小杉文化ホールラポール
参加者	全(悉皆)		
内容と成果等	・人財教育家・メンタルコーチの飯山 暁朗氏を講師に、子供のやる気を引き出すメンタルトレーニングや教師の言葉かけについて、高校野球チームの指導、オリンピック選手へのコーチング等の事例を通して学んだ。		
2	新規採用教員研修会		
日時	5月8日(水) 13:30~16:30	会場	布目分庁舎別館2階研修室
受講者	市内小、中学校新規採用教員 20名(小:15名、中:5名)		
講師等	市教育相談員、市教育センター指導主事		
内容と成果等	・市教育相談員から、対人関係ゲーム等を変えながら、ストレス対処やリラックス方法について学んだ。また、指導主事から、Q-U調査の活用について説明した。		
3, 4	外国語教育研修会 [小学校学級担任等教員悉皆で平成30・31年度の2か年(4回)の1回を受講]		
日時	① 8月8日(木) 13:30~16:30 ② 8月9日(金) 13:30~16:30	会場	大門小学校ランチルーム (①②とも)
参加者	市内小学校学級担任等教員 ① 69名 ② 50名		

講師等	富山大学大学院教職実践開発科長・教授 岡崎 浩幸 氏 市マイスター教員等（2名）、ALT（1名）		
内容と成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3,4年の外国語活動、5,6年の外国語科の導入に向け、移行措置期間の2か年で実施した。「講義」、「模擬授業」、「シンポジウム」の3部で研修内容を構成し、実践的指導力の向上を図ることを目的とした（※①、②は同じ構成、内容で実施）。 ・指導のポイントや授業構成の工夫、教材の効果的な活用、「読むこと・書くこと」の内容に即した指導の実際、小中連携の視点、ALTや外国語活動指導員との打合せの仕方等、受講者が直面している課題に即した研修内容とした。 		
4 市内地域巡り研修会			
日時	7月31日(水) 9:00~12:00	会場	市内各施設（担当者等による説明）
参加者	26名（市内小、中学校新規採用教員、希望教員）		
内容と成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の理解を図り、教材化の視点で社会科の地域学習等に生かすことを目的に、新規採用教員を対象として実施した。市バスを利用し、「新湊博物館」、「加茂神社」、「射水平野土地改良会館」、「陶房『匠の里』」、「大島絵本館」の各施設を巡回、見学した。 		
5 小学校若手教員研修会（第1回・第2回）			
日時	8月5日(月) 9:00~12:00 (国語) 13:30~16:30 (算数) 12月25日(水) 9:00~12:00 (国語) 13:30~16:30 (算数)	会場	布目分庁舎別館 2階研修室
参加者	37名（市内小学校 2~5年次教員）		
講師等	西部教育事務所 指導主事 砂土居良江 先生(国語) ※第1回のみ 西部教育事務所 主任指導主事 角 恵美 先生(算数) ※第1回のみ 指導教員：市内各校教員から(国語6名 算数6名)		
内容と成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案を作成し、実践の後、学期終了後に成果と課題を確認するインターバル方式の研修会で、第1回では助言を受けて事前に作成した学習指導案の見直しを行った。また、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりのポイント等について指導を受けた。第2回では実践の成果や課題を相互に報告し合った。研修は学年単位のグループで行った。 ・受講者の勤務校によっては学年単級であったり、日頃の授業について先輩教員から時間をかけて指導、助言を受ける時間的余裕に乏しかったりするため、具体策や代案をいただく機会として有効とする感想が多くあった。 		
6 中学校若手教員研修会（第1回・第2回）			
日時	7月26日(金) 9:00~12:00 (国語、社会、数学) 13:30~16:30 (理科、英語、音楽、美術、保健体育) 12月26日(木) 9:00~12:00 (国語、社会、数学) 13:30~16:30 (理科、英語、音楽、美術、保健体育)	会場	布目分庁舎別館 2階研修室
参加者	21名（市内中学校2~5年次教員）	講師等	市マイスター教員等（各教科 10名）
内容と成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校若手教員研修会と同様、インターバル方式で実施した。 ・教科によっては教科部会を学校でもてななかったり、日常的、計画的な教科部会の運営が困難であったりするため、受講者からは、具体策や代案をいただきながら教科指導について深く考えることのできる機会として有効とする感想が多くあった。 		
7 特別支援教育研修会			
日時	8月27日(火) 9:00~12:00	会場	布目分庁舎別館2階研修室
参加者	28名（市内小、中学校 27名、市立幼稚園 1名）		
講師等	市社会福祉課主任、市マイスター教員（3名）		

内容と成果等	・市社会福祉課主任から、障がいをもつ児童生徒が利用できる福祉制度や福祉サービスについて説明を受けた。また、特別支援教育コーディネーターの役割と機能についてグループで協議し、幼小中移行支援の観点から中学校区単位の情報交換も行った。		
その他	市授業力向上研修会		
内 容	・小中連携、「射水スタンダード」の日常化等の観点から中学校区単位で授業研究協議を行った。当日は午後放課とし、指導助言は各校管理職、市教セ等で行った。		
	6月24日(月)	小杉中学校区(小杉中、小杉小、太閤山小、下村小)	
	10月4日(金)	小杉南中学校区(小杉南中、中太閤山小、歌の森小、金山小)	
	11月11日(月)	大門中学校区(大門中、大門小、大島小)	
	11月13日(水)	新湊中学校区(新湊中、放生津小、新湊小)	
	11月22日(金)	新湊南部中学校区(新湊南部中、作道小、片口小)	
射北中学校区(射北中、片口小、堀岡小、東明小)			
その他	市体育研修会(陸上競技)		
日 時	4月18日(木) 15:00~16:30	会 場	放生津小学校グラウンド
参加者	15名(市内小学校 体育主任等)		
講師等	富山国際大学子ども育成学部 専任講師 金子 泰子 氏		
内 容	・児童の走力向上のための具体的、段階的な指導方法についての実技講習を行った。		

3 各種事業、その他の事業、事務局等

各種事業	射水スタンダード委員会		
委 員	小学校 教頭1名、教務主任14名、中学校 教頭1名、教務主任5名		
内 容	・改訂スケジュールに則り、「授業力向上のちょいテク」を改訂した。 6月14日(金) 委員会① → 改訂の方針の提示と改訂項目・内容の洗い出し 11月28日(木) 委員会② → 「改訂暫定版」作成・試行と各校意見集約(~2月末) 3月5日(木) 委員会③ → 各校への「改訂版」配付と委員による説明		
各種事業	射水市マイスター教員事業		
任 命 数	小学校12名(国語1、社会1、算数1、生活・総合1、音楽1、図工1、体育1、道徳1、特活1、特支2、ICT1) 中学校9名(国語1、数学1、理科1、音楽1、美術1、英語1、道徳1、特別支援教育1、ICT1)		
内 容	・若手教員研修会(中)、特別支援教育研修会で、研修指導者として活動した。 ・全37回の授業公開を行った。 ・担当する教科や領域等について県外研修を行った(7名)。		
各種事業	学び合う集団づくり推進事業[新規](令和元年度~令和3年度の3か年)		
推 進 校	新湊南部中学校区(新湊南部中学校、作道小学校、塚原小学校) 小杉南中学校区(小杉南中学校、金山小学校、歌の森小学校、中太閤山小学校)		
内 容	・2回の「Q-U調査」を予算化し実施した(推進校以外は1回を予算化)。 ・教育アドバイザー等を活用した研修等を各校で実施した。 学級づくり 21回(水上教育アドバイザー7、宮原先生13、村田先生1) 特別支援教育 4回(嘉義教育アドバイザー4) 音楽療法 5回(釣先生3、藤掛先生1、松井先生1)		
各種事業	学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業		
拠点校	・片口小学校		

及び 研究主題	自ら学び、表現し、共に学び合う子供の育成～「聴く・書く・話す」力の向上を目指して～ ・射北中学校 学びを実感し、主体的に学習を進める生徒の育成～学校と家庭の連携を通して～
各種事業	小中学校におけるICT教育総合支援事業 [新規]
内 容	・授業公開 (3回) ① 1月23日(木)中太閤山小学校 5年算数「多角形」 ② 1月24日(金)新湊中学校 2年技術・家庭「自動走行プログラムをつくろう」 ③ 1月27日(月)中太閤山小学校 6年理科「電気の利用」 ・先進校視察 (1名・東京都: ICTマイスター教員)
各種事業	ICTを活用した学級復帰支援協働事業
実施内容 と実施校	・タブレットPC等を活用した自学自習: 太閤山小学校、適応指導教室 ・授業中継: 小杉中学校、大門中学校、射北中学校、新湊中学校
各種事業	小学生学び応援塾
実 施 校	5校 (新湊小学校、大門小学校、大島小学校、小杉小学校、太閤山小学校)
内 容	・中学年児童を対象とした放課後補充学習での支援 (支援員5名配置、年間25～29回)

その他の事業	射水市科学展覧会
内 容	期間 9月14日(土)・15日(日) ※来場者数: 2日間で671名 会場 アルビス小杉総合体育センター 小アリーナ 展示数 119点 (小学校95点・中学校24点) 表彰 最優秀賞14点 (うち県出品 7点)、研究努力賞21点、創意工夫賞23点 特別賞 (連続出品) 小学校 9名、中学校 1名
その他の事業	射水市教育研究論文・教育実践記録
内 容	応募点数 20点 (小学校14点・中学校 6点: 教育実践記録20点) 審査結果 表彰式 [2月28日(金)] で公表 (PDF文書で文書公開)
その他の事業	その他の業務
	<ul style="list-style-type: none"> ・SSWケース会議の開催 ・不審者情報等の収集及び提供 ・研修図書購入・貸出 ・ホームページ管理及びセンターだよりの発行

事務局等	学力向上委員会
委 員	市小中学校の校長各1、教頭各1、教務主任各1、生徒指導主事各1
実施日	① 7月22日(月)、② 9月27日(金)、③ 3月 (※予定)
内 容	・学力向上に係る課題や具体、実効策の検討と「今後の射水市の取組」作成・配付
事務局等	生徒指導協議会
組 織	市内21小中学校、高岡市内2小中学校、市内の県立高等学校3校で構成
実施日	㊦① 4月25日(木)、② 6月20日(木)、③ 9月12日(木)、④ 11月21日(木)、⑤ 2月13日(木)
講師等	(所属) 射水警察署、富山県警察少年サポートセンター西部分室、西部教育事務所
事務局等	教育を考える会 [2019年度入会: 92名]
実施日	① 6月 1日(土)、② 7月 6日(土)、③ 8月 3日(土)、④ 8月17日(土)、⑤ 10月19日(土)

～あったか家族応援プロジェクト～

みんなで作る“あったか家族”イメージソング

あったか家族事業の普及・啓発、そして、あったか家族の愛ことば『家族いっしょに 食事 おしゃべり お手伝い』を広めるためイメージソングを制作します。

制作にあたり、公募から曲の選定まで、みんなで一緒に作り上げていきたいとの思いから、教育委員会で2次審査を行った後、市内小中学生によるシール投票を実施して曲を決定します。

制作の経過及び審査について

あったか家族の愛ことば「家族いっしょに 食事 おしゃべり お手伝い」の使用を条件とし、あったか家族を連想させる15秒から30秒程度の曲を募集しました。

〔募集方法〕

- ・全国的に幅広く募集するため、インターネットの公募サイトに登録掲載しました。
 - ・市内小中学校や高等教育機関、あったか家族応援隊（協力企業他）、公共施設等に募集チラシを配布しました。
- 募集期間 令和2年1月8日から1月31日
○応募総数 155作品

〔選曲方法〕

- ・1次～2次審査
担当者において条件を満たしている曲のうち8曲選曲したものから、教育委員会において3曲選定します。
- ・最終審査
小中学生及びあったか家族応援隊によるシール投票の集計結果に基づき、最優秀賞1点、優秀賞2点を決定し3月上旬に発表します。

イメージソングの活用

- ・学校活動におけるBGMとして活用いただき、事業の普及・啓発についてご協力をお願いします。
- ・射水青年会議所制作の応援標語ショートムービーとともに周知していきます。
- ・毎月25日の「あったか家族の日」に、応援隊（協力企業他）の職場や市役所で流します。

子供のよさをひき出す
～ あったか家族3つのポイント ～
あったか家族の愛ことば
『家族いっしょに
食事 おしゃべり お手伝い』



～あったか家族応援プロジェクト～
あったか家族イメージソング選曲投票 <2次審査 8曲⇒4曲>



作品No.	タイトル	歌詞	投票 ○をご記入願います
1	あったか家族	家族いっしょに 食事をすれば 楽しさいっぱい おしゃべりいっぱい お手伝いも 忘れずに ああ毎日 あったか家族	
2	家族いっしょに	家族いっしょに 食事をしよう おしゃべりはずむよ あっはっはー 忘れちゃダメ お手伝い みんな元気に あっはっはー ぼくもわたしも あっはっはー	
3	だんらんらん	ぼくが笑えば、みんなも笑う ララララ 団欒 ラン あったか家族 家族一緒に 食事おしゃべり お手伝い ランラン あったか家族	
4	あったか家族	家族いっしょに 食事をしよう 家族みんなでおしゃべりしよう 家族なかよく お手伝いしよう あったか家族の愛のことば	
5	あったか家族ハッピー射水	(手拍子) 家族いっしょに 食事 おしゃべり お手伝い Hum Hum Hum Hum 家族いっしょに 食事 おしゃべり お手伝い ラララ ハッピーいみず♡ (手拍子)	
6	家族の愛ことば	家族いっしょに 食事 おしゃべり お手伝い 声がすれば みんな集まる 家族の愛ことば	
7	スマイルファミリー	家族みんなでお手伝いしたら すぐにできる 家族いっしょに お食事 おしゃべり 楽しいな 夢を話そう 大好きなこと ラララ 笑顔あふれる ラララ あったか家族	
8	あったかぞく	家族いっしょに 食事 おしゃべり お手伝い みんな笑顔になれる この射水で 今日も楽しく過ごそうよ	

令和2年3月の主な行事予定

資料11

日	曜	時間	場 所	行 事 予 定	主務・関連課	教育委員出席
1	日					
2	月					
3	火					
4	水					
5	木					
6	金					
7	土					
8	日					
9	月					
10	火					
11	水					
12	木					
13	金		市内中学校	卒業式	学校教育課	○
14	土					
15	日					
16	月		市内幼稚園	卒園式	学校教育課	
17	火		市内小学校	卒業式	学校教育課	教育委員
18	水	10:00	本庁舎会議室401	第2回社会教育委員会議	生涯学習・スポーツ課	教育長
19	木	13:30	本庁舎会議室306	生涯学習推進協議会役員会	生涯学習・スポーツ課	
20	金					
21	土					
22	日	10:00	本庁舎会議室201	射水市婦人会解散総会及び解散式	生涯学習・スポーツ課	教育長
		14:00	本庁舎会議室302	あったかCAFE～子育て応援 講演&座談会～	生涯学習・スポーツ課	
23	月					
24	火		市内幼稚園・小中学校	修了式	学校教育課	
25	水					
26	木					
27	金	12:15	本庁舎1階エントランスホール	ハートフルコンサート(射北中学校吹奏楽部)	学校教育課	
28	土					
29	日					
30	月					
31	火					

展示等

自	至	場 所	展 示 名	自	至	場 所	展 示 名
2/28	4/19	新湊博物館	いにしへの器				
3/6	3/19	中央図書館	「本で心と体をリフレッシュ！」展				

令和2年4月の主な行事予定

日	曜	時間	場 所	行 事 予 定	主務・関連課	教育委員出席
1	水					
2	木					
3	金					
4	土					
5	日					
6	月		市内幼稚園・小中学校	第1学期始業式	学校教育課	
7	火		市内小学校	小学校入学式	学校教育課	○
8	水		市内幼稚園	幼稚園入園式	学校教育課	
			市内中学校	中学校入学式	学校教育課	○
9	木					
10	金					
11	土					
12	日	6:30	氷見市～朝日町 県内9市町	湾岸サイクリング2020	生涯学習・スポーツ課	
13	月					
14	火					
15	水					
16	木					
17	金					
18	土					
19	日	9:00	新湊アイシン軽金属スポーツセンター	令和2年度 射水市スポーツフェスタ総合開会式	生涯学習・スポーツ課	
20	月					
21	火					
22	水					
23	日					
24	金					
25	土					
26	日					
27	月					
28	火					
29	水					
30	木					

展示等

自	至	場 所	展 示 名	自	至	場 所	展 示 名
2/28	4/19	新湊博物館	いにしへの器				
4/24	7/5	新湊博物館	中世 戦とくらし(仮称)				

射水市小杉体育館ネーミングライツパートナーについて

1 命名権の応募のあった施設の概要

施設名	射水市小杉体育館
所在地	射水市黒河 7 1 2 番地
施設規模	地上 2 階建 敷地面積 9,528 m ² 建築面積 4,290.70 m ²
施設の内容	【アリーナ】 バスケットボールコート 2 面、バレーボールコート 3 面 バドミントンコート 6 面 ランニングコース 1 周 170m、観客席 200 席 柔剣道場、卓球場、多目的（トレーニング室）

2 優先交渉提案者

事業者名	株式会社 ビルト・プレイズ
所在地	射水市戸破 1 7 2 1 番地
代表者	代表取締役 山道 樹里

3 提案内容

契約金額	1 年当たり 1 1 0 万円（消費税等別）
契約期間	令和 2 年 5 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで
愛称	ビルト・プレイズ 歌の森体育館
命名理由	当施設（小杉体育館）は「歌の森運動公園」と隣接していることから、このエリアを「歌の森」の名称とすることで、この一帯の魅力を高め、多くの親子連れや若者など、幅広い世代の市民が活発に世代間交流してもらえるよう希望し、命名したものである。

- 4 応募の経過 市ホームページで募集を行ったところ、1 者から提案書の提出があった。